

## きらり！部門

令和2年度の活動で、「頑張った」こと「工夫したこと」を大いに自慢してください。

### 【記載事項】

- ・令和2年度の主な活動内容
- ・令和2年度の活動の成果
- ・令和2年度の活動で、きらり！輝くポイント

\*特に今年は、コロナ対策として工夫し、成果を上げたことも自慢してください。

### (令和2年度の活動内容)

20年以上の活動実績を持つフィリピンに本をおくる会の活動とシニアの再チャレンジを支援する会(さいちゃれ)は本年合流し、当活動の運営をさいちゃれが引き継いだ。しかしコロナ感染拡大の影響により、従来のように人と接する活動等については大きく制約されることになった。当活動は、既に高齢となったシニア世代が活動の中心であったため、活動の多くはアナログで行われていた。そこで、このような環境下においても、支障なく活動を推進する為、デジタル化とICT化を促進した。

### (活動の成果)

当年に実施した、フィリピンに本をおくる会の活動のデジタル化とICT化の推進事例としては次のような改善を行った。結果、このような社会環境においても活動の幅を拡大させることにつながった。

- ①手書き翻訳ラベルのデジタル化。(手書き作成の翻訳ラベルをワード・PDFを活用しデジタル化を推進、またクラウドを活用することによりデータの共有を可能とした。)
- ②翻訳ボランティアの国際化(昨年参加の東アジア文化都市事業により得た人的関係から、国内支援者のみで行っていた翻訳支援を、SNSとクラウドを活用することによりフィリピン在住者の翻訳支援を得る事ができた。)
- ③翻訳作業のクラウド化(海外翻訳支援者とのデータやり取りを可能にするため、G-DRIVE等を活用しファイルの共有を実現し、効率的な翻訳作業を実現した)
- ④SNSを活用し、現地ボランティアとのリアルタイムコミュニケーションを実現した(従来現地との連絡はEMSを使った紙のコミュニケーションのみの為、コミュニケーション遅れの問題があったが、Messengerを活用してのリアルタイムコミュニケーションと、フィリピン翻訳支援者の力を得て、現地ボランティアとのタガログ語でのオンラインミーティングが実現した)
- ⑤現地ボランティアへの支援金送金を銀行送金から、オンライン送金に変更し、手数料の削減と即時送金を実現した。
- ⑥活動資金の獲得活動であるボランティアによるネット製品の販売活動「あむあむの会」の店舗販売を補完する為、ネットショップをオープンし常時販売を可能にした。

(従来は年2～3回程度の店頭販売において、販売活動を行っていたが、当年はコロナ感

染の影響により店舗販売の制約を受けた。この制約を補完する為ネットショップを開設した。）

#### **(きらり輝くポイント)**

令和2年フィリピンの現地ではコロナ感染の行動制限だけでなく、巨大台風が3つ続けて現地を襲い、大きな水害被害がもたらされた。本年推進したデジタル化とICT化により、現地とのタイムリーなコミュニケーションが実現できていたことにより、現地要求に対し、迅速な支援を行うためのツールとして大きな効果をもたらした。

-----

#### **つながれ！部門**

令和2年度の活動で、新たに広げたネットワークづくりや事業の協働を自慢してください。

##### **【記載事項】**

- ・令和2年度ネットワークを活用した主な活動や協働の内容
- ・令和2年度の活動で広がったネットワーク
- ・令和2年度のネットワーク拡大のねらい

##### **(ネットワークを活用した主な活動や協働の内容)**

20年以上の活動実績を持つフィリピンに本をおくる会の活動とシニアの再チャレンジを支援する会(さいちゃれ)は本年合流し、当活動の運営をさいちゃれが引き継いだ。しかしコロナ感染拡大の影響により、従来のように人と接する活動等については大きく制約されることになった。さいちゃれでは、ICTツールやSNSコミュニケーションを活用しフィリピン在住翻訳支援者や現地ボランティアまた日本のさいちゃれメンバー、フィリピン永住権をもつ静岡在住支援者をネットワークでつなぎ、データの共有とタイムリーなコミュニケーションで現地事情の正確な把握を共有することを可能にした。

##### **(広がったネットワーク)**

令和2年に広げたネットワークは次の対応を行い、面としての広がりを実現とした。

- ①クラウドやSNSを活用したオンラインミーティングを活用しフィリピンの翻訳支援者となつながらることを可能とした。また国内支援者についてもフィリピンに永住権を持つ静岡在住者の支援を受けることを可能とした。
- ②現地ボランティアとはクラウドを活用したデータの共有とSNS(FB・ライン・ZOOM等)を活用したコミュニケーションを導入したことによりタイムリーなコミュニケーションを可能とした。またタガログ語翻訳者の支援を得ることによりZOOMを活用してのタガログ語でのテレコンも可能となりタイムリーに現地で生じる問題についての会話を可能とした。

##### **(ネットワーク拡大のねらい)**

令和2年度におけるネットワーク拡大の成果については、期待通り面としての広がりをもたらしたが、いくつかの課題も残っており、これは令和3年度に継続する課題と考えている。

- ①さいちゃれは基本的にシニア団体の活動であるため、全員がITスキルを持つわけではない。スキルアップは1つの課題となっている。

②現地におけるネットワーク環境は必ずしも良くない為、とぎれとぎれのミーティングになることも多い。これらの改善可能性については、今後も継続する課題である。

③支援者ネットワークの拡大は若者の参加、地域支援者の参加も考えるが、この立上げには、直接会っての F2F コミュニケーションも必要であり、コロナ感染収束の様子を見たい。

-----  
**はばたけ！部門**

令和3年度に予定している新たな活動や団体としての取り組み内容を自慢してください。

**【記載事項】**

- ・令和3年度に新たに取組もうと考えている活動内容
- ・上記の活動で目指す成果
- ・上記活動で「はばたく」ポイント

**(令和3年度に新たに取組もうと考えている活動内容)**

令和3年度は、コロナ感染の影響による活動制約も引き続き予測されるため、シニアの再チャレンジを支援する会(さいちゃれ)はフィリピンに本をおくる会の活動を中心に据え、令和2年度に認識され積み残された課題の解決と、当活動が夢とする現地第二図書館の再建をより現実的なものとする為、関連団体及び支援団体との調整までをも含めた具体的計画の立案を目指す。

**(目指す成果)**

令和3年度、さいちゃれが目指す成果は、次のとおりフィリピンに本をおくる会の活動の支援者拡大と、夢である図書館再建に向けての第一歩として具体的な計画を立案する。

・フィリピンにおける翻訳ボランティアの増員と、国内においては世代を超えた支援者の拡大を目指す。

・コロナ禍のフィリピンでは学校は閉鎖されたが、有意義な施設として図書館の利用は許可されている。現地では有意義な施設として存在する図書館も老朽化が進んでいる。この老朽化した図書館を、夜間でも学ぶことの出来るソーラーパネルを敷設した図書館として再建する為の具体的立案を目指す。

**(「はばたく」ポイント)**

さいちゃれは、令和3年度もフィリピンに本をおくる会の活動プロセスの実施と定着を中心に、今後の活動を羽ばたかせるためフィリピン在住翻訳ボランティアの拡大と活動を支援いただく、国内ボランティアの充実を目指す。世代を超えた支援者の拡大と、KATESALON(豊島区千早)を拠点とした、地域交流支援の充実を目指す。

そして今後活動の最大の目的である、現地図書館の再建を立案し、今後の活動の目標を現地ボランティアと共に立案し具体的計画とすることを目指す。